

クレマチス園MAP

系統別に列番号をつけて展示しています

見頃の目安



※天候により、開花時期が変動する場合があります。 8月~9月 クサボタン系野生種他

1 12 パテンス (Pat) 系

日本に自生するカザグルマの特徴を受け継いだ、大輪で早咲き(5月上中旬)、1季咲きの系統。

11 カザグルマ (Clematis patens)

花は大輪。古く1600年代から観賞用に育成され、多数の品種の交配親として貢献。本州、四国、九州、朝鮮半島、中国に分布するが自生地が少なく国内では準絶滅危惧種 (NT)として登録されている。自生地によって花色や花びら(がく片)の形に変化が見られる。早咲き(5月前半)。

4 インテグリフォリア (Int) 系

原種は東欧から西アジアに分布。遅咲き(5月中旬~6月)の強健種。水はけのよいロックガーデンなどに適する。

3 テクセンシス (Tex) 系

テクセンシスの日本名は、紅花半鐘蔓。テキサス州~メキシコ原産。遅咲き(5月中旬~6月)、寒さに弱い。チューリップ型の花を多数つける品種もある。

3 ヴィオルナ (Vio) 系

原種はアメリカに分布。耐寒性や耐暑性があり、つぼ型やベル型などの花が長く楽しめる人気がある。遅咲き(5月中旬~6月)。

9 モンタナ (Mon) 系

原種はヒマラヤ~中国西部の山中に分布。多花性で早咲き(4月~5月上旬)1季咲き。フェンスや壁に這わすと見事。夏の暑さに弱い。

シロバナハンショウヅル

ペリー提督率いる黒船が来航した際、伊豆の下田で採取した株をもとに命名された。日本固有。早咲き(4月~5月前半)。

2 八重咲き品種他

パテンス系、ラヌギノーサ系、フロリダ(テッセン)系など。

7 8 ラヌギノーサ (Lan) 系他、園芸品種

花は大輪でパテンス系に似る。花期が長く(5月中旬~6月)、多数の園芸品種がある。

5 ウィティケラ (Vit) 系

地中海沿岸から中近東に分布するウィティケラ(ピチセラ)から作出された系統。小輪、遅咲き(5月中旬~6月)。

6 ジャックマニー (Jac) 系

英国のジャックマン氏が、ラヌギノーサとウィティケラ系を交配して作出した、'ジャックマニー'をもとにした系統。遅咲き(5月中旬~6月)。管理が容易なため庭植えに適す。

10 クサボタン系野生種他

木立性のクレマチスで、花期は8月~9月。日本や中国などに8種が知られる。ポタンヅル節との雑種も知られる。



ラベルの見方

Lan	クレマチス	属名(学名)のカタカナ読み、または和名
	'藤娘'	園芸品種名(和名)
	Clematis	属名(学名)※野生種は種小名も
	'Fujimusume'	園芸品種名(学名)
	C.'Asagasumi' × C.'The President'	交配親、備考他

系統の略記号

クレマチス園管理係

出入口

この先立入禁止 ↑

絶滅危惧植物温室

10 クサボタン系野生種他

ポタンヅル類

園路

シダ植物

中央五橋 →